

第二回 大安寺伝統話芸鑑賞会 薩摩琵琶

2022.09.11(日) 開演 14:30 (開場 14:00)

会場：大安寺獅子吼殿 ひ・び・き・ホール

参加費：1,500 円

演目 本能寺 他一曲

(薩摩琵琶の簡単な紹介・説明があります。)

出演 杭東 詠水

杭東詠水(くいとう・えいすい)氏のプロフィール
1943年兵庫県生まれ。17歳で錦心流薩摩琵琶の
廣瀬綴水師に詩吟を教わり、19歳の時から本格的に
琵琶を始める。1978年に錦心流琵琶全国一水会より
教師免許を允許(いんきょ)される。

現在、全国一水会理事、および大阪支部長、
日本琵琶楽協会関西支部理事を務める

申込み：大安寺伝統話芸鑑賞会事務局 (Nara Stag Club)
件名を「第二回大安寺伝統話芸鑑賞会申込み」として
narastagclub2008@gmail.com へお申込みください。

URL: <http://narastagclub.jp>

(お問合せ) 072-892-4115 (田原)

主催：  Nara Stag Club 共催：大安寺

NPO

— 大安寺を勝手に応援団 —

『本能寺』あらすじ

天正十年六月二日、主君織田信長の
暴虐無道な仕打ちに耐えかねた

明智光秀は、亀山城から羽柴秀吉の

援軍として中国の毛利攻めに向かうはずの

軍勢を率い、突如桂川を越え、本能寺に

滞在する織田信長を襲います。

謀反を知った信長は、自ら弓矢を取って

戦いますが、やがて館に火を放って

自害したのです。

天下統一を目前にした信長の胸中は

いかばかりであろうか。

<Nara Stag Clubからのお知らせ>～大安寺伝統話芸鑑賞会～

現代は膨大なデジタル情報がSNSなどを通じて飛び交うデジタル情報社会ですが、
そのような中で日本の伝統話芸は少しずつ影を潜めつつあります。

日本語には情景や情感を豊かに表現する力があり、その為に非常に幅広い話芸の伝統が
培われてきました。落語を始め、講談、浪曲、琵琶、詩吟、浄瑠璃などなど

様々な形の話芸の伝統があります。これらは勿論娯楽の為に演奏されるものですが、

他方では仏教との関係も深く仏教の教えをこれらの話芸に乗せて説いている演目も沢山あります。

Nara Stag Club(ナラ・スタッグ・クラブ)は、大安寺という仏教環境の中で日本の伝統話芸の
表現の豊かさを皆様に味わって頂きたく、春夏秋冬の各季節に一回、大安寺の月縁日の
日に伝統話芸鑑賞会を開催致します。多くの皆様のご来場をお待ちしています。